

乱用物質と抗HIV薬の間には 相互作用が認められる

- リトナビルにより、アンフェタミン、MDMA、meperidine およびGHBの毒性は増強される。
- バルビツール酸系薬物は、PI、NNRTI、INSTI、マラビロクおよびTAFの代謝に関与するシトクロム系を誘導し、これらの薬剤の有効性を有意に低下させる。
- 経口ミダゾラムおよびトリアゾラムは、PI、NNRTI、エルビテグラビルおよびエファビレンツとの併用は禁忌である。
- PIおよびエトラビリンにより、ケタミンおよびPCP（フェンシクリジン）の毒性は増強される。